廃棄物・資源活用

306-1,306-3,306-4,306-5

循環型社会

基本的な考え方・方針

当社は循環型社会の実現に向け、原材料調達から開発、製造、物流、使用・廃棄とライフサイクルの各段階において環境負荷低減に配慮し、廃棄物削減と資源活用に関するさまざまな取り組みを進めています。

原材料調達段階ではサプライヤーと協働でバイオ素材やリサイクル材の利活用を検討し、商品開発段階では原材料の組み合わせや軽量化・減量化、パッケージの薄膜化などに取り組んでいます。製造段階では製品ロスの削減や端材（トリム）のリサイクル、販売段階では販促物の環境負荷低減などに取り組んでいます。使用・廃棄段階では適切な廃棄方法の啓発や使用済み紙おむつのリサイクルなどに取り組んでいます。これらのさまざまな取り組みによって、循環型社会の実現を目指しています。また、やむを得ず発生した廃棄物は適正な処理を行います。

【日本】環境省「Re-Styleパートナー企業」に認定

循環型社会の構築に向けた「Re-Styleパートナー企業」として、環境省から認定されました。環境省が主催する「選ぼう！3Rキャンペーン」へ参加するなど、継続的に消費者の「3R行動」を促す活動を実施しています。

Re-Style
限りある資源を未来につなぐ。今、僕らにできること。

マネジメント体制

当社はTCFDの提言に基づき、「環境目標2030」と「Kyo-sei Life Vision 2030」に沿って報告を行っています。年4回、社長執行役員を委員長としたESG委員会で廃棄物・資源活用に関する重点課題について計画と進捗を共有し、取締役会で承認を得た上で、目標達成に向けたPDCAサイクルを回しています。

P.036 環境マネジメント体制
P.010 ESG推進体制

環境監査

環境汚染の予防については、基本的には環境法規制やISO14001に則った活動や管理を行っています。活動や管理のレベル・パフォーマンスを維持向上するため、3つの環境監査を実施しています。

（1）ISO14001に基づく定期監査
（2）産業廃棄物適正処理のための委託先現地確認
（3）法規制遵守状況確認など、目的を絞ったフォーカス監査

取り組み・実績

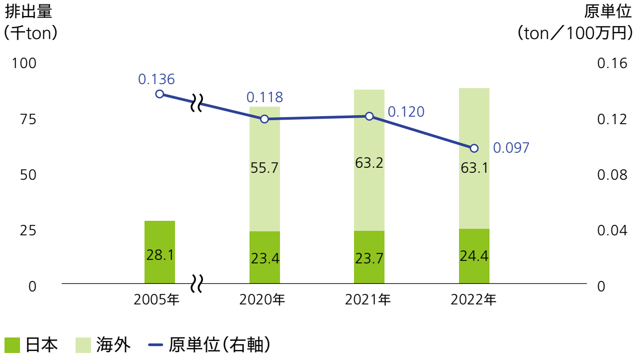
工場外に排出される廃棄物の処理

2022年の廃棄物は87.5千tonで、前年より0.6千ton増加しましたが、売上高も増加したため、原単位では約19%削減しました。

製造技術の向上上に取り組むことで、廃棄物発生の抑制に努めていますが、どうしても工場外に排出される廃棄物については、3R（Reduce、Reuse、Recycle）の観点からより環境負荷を与えない廃棄物処理業者を探索し、再資源化されるよう処理の委託を行います。

処理を委託する業者を選定する際には、現地を訪問して、廃棄物の処理方法を確認しています。

▶ 廃棄物発生量

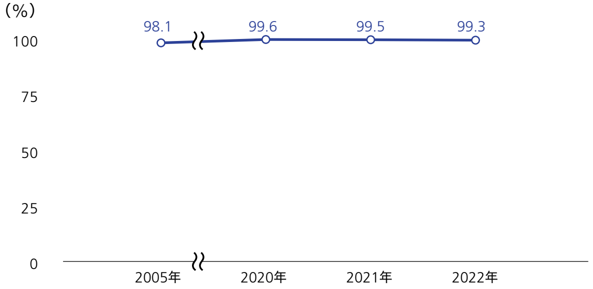


P.064 環境データ>廃棄物発生量

生産拠点におけるリサイクル推進

生産拠点で発生する紙おむつの製品ロスや端材（トリム）などのリサイクルをグループ全体で進めています。
日本の生産拠点（主要4工場）における2022年のリサイクル率は99.3％で、最終埋立処分率は目標の1％以下を維持し、15年連続でゼロエミッションを達成しています。
海外においては、タイの現地法人で、工場の製造工程から出る規格外商品を破砕する設備を導入し、発生した廃棄物全体の約97％をリサイクルしています。日本でのリサイクル活動と併せて、埋立廃棄物ゼロを実現しています。

▶ リサイクル率（日本）



※ 国内主要4拠点（マテリアルリサイクル+サーマルリサイクル）

P.065 環境データ>リサイクル率

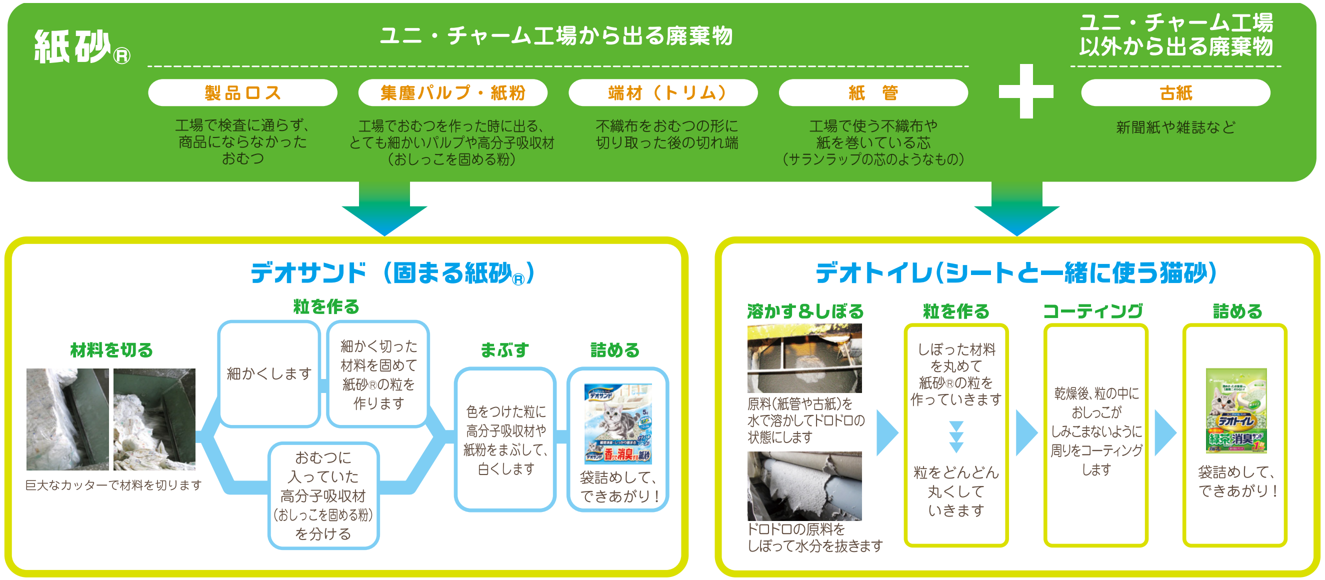
製品ロスの二次利用

301-2,301-3

パートナー・アニマル（ペット）ケア用品の生産子会社であるペパーレット株式会社（以下、ペパーレット）と金生プロダクツ株式会社において、グループ全体で発生する紙おむつの製品ロスなどを、猫の排泄ケア用品（紙砂®）の原料として二次利用することで廃棄物削減を推進しています。2022年は、約16,097tonを原料化しました。
なお、静岡県藤枝地域周辺に点在しているペパーレットの拠点を集約し、静岡県島田市に新工場を建設しており、2023年8月の完成を予定しています。生産・物流効率の向上を図るとともに、国内外のグループ生産拠点から排出される工程ロス等の再利用を促進し、廃棄物削減を推進します。

【日本】ロール状資材の紙管リユース

日本の生産拠点では、サーマルリサイクルの対象となっていた紙管（ロール状資材の紙製芯材）をサプライヤーに返送し、リユースする活動を行っています。



【日本】使用済み紙おむつリサイクルによるごみ削減

当社の使用済み紙おむつリサイクルシステムは、回収した使用済み紙おむつを洗浄・分離し、取り出したパルプに独自のオゾン処理を施して排泄物に含まれる菌を死滅させ、未使用のパルプと同等に衛生的で安全なパルプとして再生するシステムです。2022年6月には鹿児島県内の一部の介護施設において、吸水紙の一部にリサイクル材を使用した大人用紙おむつ『ライフリー』のテスト使用を開始しました。
なお、100人分の使用済み大人用紙おむつを1年間にわたりリサイクルした場合、ごみ収集車（2ton）23台分のごみを減らすことが可能です。

P.027 環境配慮型商品の開発／リサイクルモデルの拡大

排泄ケアにおける「アウター」と「インナー」の併用を啓発

当社は、テープタイプやパンツタイプといった大人用紙おむつ（アウター）と、尿取りパッド（インナー）の併用を啓発することで、ごみの削減につなげています。一例として、アウターとインナーを併用した場合、排尿時の交換はインナーのみとなるため、毎回アウターを交換した場合と比較して約20％のごみ削減につながります。

つめかえ、つけかえ商品によるリユースの推進

シート部分を取り替えて使用するお掃除用品『ウェーブ』や、つめかえて使用するおしりふきやウェットティッシュ等、ホルダーや本体容器を繰り返しリユースできる商品を提供することで、ごみの削減を推進しています。

外箱の廃止による廃棄物削減

2022年3月より、猫用システムトイレ『デオトイレ ハーフカバー』『デオトイレ フード付き』の外箱を廃止し、段ボールの廃棄量を約29％削減しました。
また、猫用システムトイレはおしっこを通過させて、下層のシートで吸収する2層構造により、固まるタイプの紙砂®を使用した場合と比べて、1カ月で約51％のごみを削減します。

デオトイレの構造

【日本】シンプルな外装のまとめ買いパッケージ

環境に配慮したシンプルな外装箱に入った『シンクロフィット まとめ買いパッケージ』をオンライン限定で販売しています。